

先端技術体験を紹介します —小ネタを添えて—



弁護士知財ネット会員
弁護士 室谷 和彦¹

1 はじめに

「万博」は、地球規模のさまざまな課題に取り組むために、世界各地から英知が集まる場であり、新しい技術や商品が生まれるきっかけとなっています。ニューヨーク万博（1853年）ではエレベーターが、フィラデルフィア万博（1876年）では電話が、大阪万博（1970年）では動く歩道が出展されました²。

今回の大阪・関西万博で出展されている先端技術の中では、特に、ライフサイエンス技術と、再生可能エネルギー技術が注目されています。

そこで、筆者が大阪・関西万博で体験してきた、ライフサイエンス技術と再生可能エネルギー技術を中心に、紹介させていただきます。併せて、実際に万博に行って（すでに3回行きました³）感じたことを小ネタとして紹介します。

皆様に、大阪・関西万博の魅力や楽しさを、少しでもお伝えできれば幸いです。

●ミャクミャクは後ろ姿が素敵



公式キャラクター「ミャクミャク」は、今では、大人気。ミャクミャク像の付近は、記念撮影スポットになっています。近くにいた子供たちは、「しっぽがかわいい」と興奮気味でした。

「ミャクミャク」という愛称は、「今まで『脈々』と受け継がれてきた私たち人間のDNA、知恵と技術、歴史や文化」⁴にちなんでいるとのこと。

◀（ポップアップステージ西付近にて撮影）

1 大阪弁護士会知的財産委員会令和7年度委員長

日弁連知財センター令和6年度意匠・商標・不正競争防止法PT座長

2 EXPO 2025 公式web (<https://www.expo2025.or.jp/overview/purpose/>) 参照。

3 4月16日（水）、19日（土）、5月1日（木）に訪れました。